

第 24 期第 2 回プラズマ波動小委員会（略称 H 小委員会） 議事概要

2018. 11. 25

日時 : 平成 30 年 11 月 25 日 (日) 12:40-13:30

場所 : 名古屋大学 ES024 講義室

出席者 : 天野 孝伸, 石坂 圭吾, 臼井 英之, 大村 善治, 岡田 雅樹, 尾崎 光紀, 尾花 由紀, 笠羽 康正, 笠原 禎也, 加藤 雄人, 熊本 篤志, 小嶋 浩嗣, 篠原 育, 小路 真史, 中川 朋子, 成行 泰裕, 能勢 正仁, 松清 修一, 三好 由純, 八木谷 聡 (敬称略)

欠席者 : 中村 正人, 芳原 容英, 村田 健史 (敬称略)

1. 報告事項

(1) URSI 国際動向について

以下の報告が笠原委員長よりあった。

- AT-RASC 2018 (Gran Canaria, Spain, 2018/5/28-6/1)開催状況が報告された。URSI-H Commission 関連では、日本から 1 名の Young Scientist 受賞者 (松田昇也氏) があったこと、あらせ・Van Allen Probes の Special Session が開催され、日本から多数の発表があったことが報告された。
- AP-RASC2019 (New Delhi, India, 2019/3/9-15) の開催が予定されており、大村委員の General Lecture が行われること、また URSI-H 主催セッションに、3 名の日本人コンピーナが加わっていることが報告された。
- URSI2020 総会がローマで開催されること、また次々期の URSI 総会が 2023 年札幌で開催予定であることの報告があった。

(2) 日本国内委員会 (URSI 分科会) の活動状況について

以下の報告が笠原委員長よりあった。

- URSI 創立 100 周年を記念して、日本でも URSI 100 周年記念シンポジウムの開催が予定されていること。
- URSI-JRSM (Japan Radio Science Meeting) 2019 が 2019/9/5-6 に開催予定であること。
- いずれのイベントも近日中に詳細が確定し、改めて案内があるとの補足説明が八木谷委員 (URSI 分科会委員長) よりあった。

(3) URSI-H 小委員会の活動状況について

- 京都大学生存圏シンポジウム「実験室宇宙・天体プラズマ物理学に関する研究集会」(2018. 8. 20-21) が、松清委員が主幹事となって、九州大学筑紫キャンパスで開催されたことの報告があった。同シンポジウムは、地球電磁気地球惑星圏学会 (SGEPSS) 波動分科会と URSI-H 小委員会の共催で行われた。
- 名古屋大学 ISEE 研究集会の開催 (予定) について
名古屋大学 ISEE 研究集会「あらせ衛星の電場・プラズマ波動観測データを用いた解析ワークショップ」が 2019. 3. 5-6 に、名古屋大学東山キャンパスで開催予定であることが報告さ

れた。同シンポジウムは、第 11 回 ERG サイエンス会議を兼ね、URSI-H 小委員会のほか、SGEPSS 内部磁気圏分科会、同・波動分科会、JAXA 宇宙研磁気圏・電離圏シンポジウムの共催の形で開催される。

2. 協議事項

(1) URSI-H 小委員会の今後の活動について

URSI-H 小委員会が参画する来年度の研究集会の企画・立案について協議し、今年度と同様、SGEPSS 波動分科会などと連携し、研究会開催などの活動を積極的に推進することを確認した。あわせて各委員に、シンポジウム企画などの提案があれば、積極的に挙げていただきたい旨の依頼が、委員長よりあった。

大村委員より、9th VERSIM (VLF/ELF Remote Sensing of Ionospheres and Magnetospheres) Workshop が、科研費・基盤 S (代表：大村委員) の非線形波動粒子相互作用研究プロジェクトとの共催で、2020/3/23-27 に京都大学宇治キャンパスで開催予定であることが報告され、多数の参加者の呼びかけがあった。

3. その他

特になし。